

サーベイランスデータに基づくわが国のPMLの疫学像 (2016年12月 - 2019年11月 データ)

研究分担者: 自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 阿江竜介

疾病登録件数 : 144例 → PML症例 : 73例

- 【発病年齢】** 平均(SD) : 60.5(14.6)歳, 中央値 : 64歳
- 【性差】** 男 : 37例 (50.7%), 女 : 36例 (49.3%)
- 【地域分布】** 東京都 : 9例 (12.3%), 神奈川県 : 6例 (8.2%),
大阪府 : 6例 (8.2%), 北海道 : 6例 (8.2%)
- 【診断分類】** 確実例 : 67例 (91.8%), ほぼ確実例 : 3例 (4.1%),
疑い例 : 3例 (4.1%)
- 【基礎疾患】** 血液疾患 : 26例 (35.6%), 膠原病 : 16例 (21.9%),
※重複あり 固形がん : 11例 (15.1%), 人工透析 : 9例 (12.3%),
HIV感染症 : 9例 (12.3%), 多発性硬化症 : 3例 (4.1%)
免疫不全を来すその他の疾患 : 8例 (11.0%),
- 【死亡までの期間】** 死亡者数 : 23例
死亡時年齢 : 平均(SD) : 62.5(14.9)歳, 中央値 : 64.5歳
発病から死亡までの期間 : 平均(SD) : 9.5(15.2)ヶ月
- 【脳生検と剖検】**
脳生検 : 31例 (42.5%), 剖検 : 8例 (11.0%)
- 【フィンゴリモド関連PML】**
多発性硬化症 : 3例 (8.3%) うち全員がフィンゴリモド投与例
※現時点ではナタリズマブを投与されていた症例なし

解 説

1. 当該期間中に144例(昨年度より69例増加)の患者情報の提供があり, そのすべてをPMLサーベイランス委員会で詳細に検討した結果, 73例(昨年度より37例増加)がPMLと認定されデータベースに登録された。
2. 現在の登録症例数は73例といまだ少ないが, 今後は疾病登録システムが整い登録症例が増えれば, より詳細な分析が可能になる。